

# 黄城

Ojo News Letter Vol. 45

## CONTENTS

特集ようこそ先輩!!	1
会長挨拶、母校の近況	5
合格だ！優勝だ！	6
各支部総会報告	8
卒業50周年を祝う	10
後輩からの一言	11
投稿、トピックス、お知らせ	12
黄城会総会を終えて	14
役員一覧、物故者、寄付金・寄贈	15
事務局通信	16

発行▶平成27年7月1日

発行所▶黄城会

発行人▶岩松 要輔

印刷▶株音成印刷

### 特集 ようこそ先輩!!

# 私の32年間の 歯科医療をかえりみて

坂井 一弥 先生

小城市牛津町 坂井歯科医院  
歯科医師

会報「黄城」の巻頭特集「ようこそ先輩!!」は、小城市牛津町の歯科医師坂井一弥さん（高校22回卒）を迎え、5月1日小城高体育館で小城高校全校生徒の前で「私の32年間の歯科医療をかえりみて」と題し、講演が行われた。

## 特集 黄城人(高校22回卒) 坂井 一弥 先生「私の32年間の歯科医療をかえりみて」

皆さんおはようございます。今、ご紹介にあずかりました坂井一弥と申します。昭和45年に小城高等学校を卒業させていただきました。

私は歯科医師です。大学を卒業して38年になります。歯科医療に対する考え方と、それを通して生きてきたことに関する考え方を本日は話したいと思います。

本校を卒業した昭和45年には大阪万国博覧会がありました。その1年間大学浪人しました。私の父は旧制小城中学校を卒業しております。旧中の39回の卒業生です。父は、昭和24年に牛津で歯科医院を開業しました。私は、歯科業を継いだわけなんですけど、本当は私は歯科医師ではなく医師の

方の医学の勉強をしたかったんです。しかし、父が歯科医業の方に行って欲しいみたいな感じでした。絶対行けとは言わなかったんですけども、そういうことで歯科大学を選びました。

### 東京での9年間

東京の飯田橋にある日本歯科大学に昭和46年に入学しました。6年間、そこで勉強して昭和52年に卒業しました。大学時代、6年間寮に入りました。寮というのは歯科大学の寮ではないんです。JRの山手線の目白駅の前が目白通りから学習院大学前を通って行って、途中に日本女子大学があり

ます。その先の敷地面積が7千坪ほどの熊本の細川藩の元藩屋敷が私の6年間居住していた寮です。ここは、昭和30年に財団法人和敬塾として前川喜作という人が設立しました。当時、小城高校の先輩から、「是非坂井君和敬塾に入りなさい」と勧められて和敬塾に6年間お世話になりました。

そこは下に神田川が流れていて、早稲田大学に近いんです。学生数が一つの寮に150人ぐらいいたんです。それが3つありました。450人ぐらいの寮生と一緒に生活しました。医科と歯科は6年間ですね。文系・理系は4年ですけれどね、私は6年間そこでお世話になりました。東京6大学はもちろん都内の私立大学の人もいました。

出身地が北海道から沖縄の人まで来ていました。いろいろな人と話して、歯科以外のことも非常に勉強になったことを今思い出しております。東京に行かれる人がいるなら和敬塾に入塾してください。紹介します。今では大きくなって6つか7つ寮ができております。アメリカのスタンフォード大学の留学生もいます。

和敬塾で、いろいろな友達と遊んだり勉強したことが今も懐かしく思い出されます。寮の連中は、現在会社員もいれば坊さんもいます。その他いろいろな人がいます。県庁マンもいるし、いろいろな友達と話したことが今でも糧になっています。最初2年間は二人部屋だったんです。



和敬塾本館（旧細川邸）：裏庭

各寮の寮長は高校の校長を退職されてこられた方や、自衛隊を退職されたりした方でした。いろんな話を聞かせていただきました。卒業して東京の先輩の歯科医院に3年間勤め、昭和55年に佐賀に帰ってきました。父と一緒に歯科医業に就きました。以来、35年になります。



左写真中央は、中曽根康弘元総理の講演後の色紙。講演日：昭和58年5月15日

## ムシ歯の洪水の中で

昭和50年代～60年代は、ムシ歯の洪水の時代だったんです。ムシ歯の無い人を探すのが大変でした。昭和50年代から60年代は、ムシ歯を予防するとか、どうしたらムシ歯にならないんだろうかということよりも治療すること。とにかく治すこと。詰めたりかぶせたり、神経の治療をしたり、そういう時代だったんです。

昭和50年代頃は歯医者さんも現在より少なかった。歯医者さんが少ないうえにムシ

歯の洪水だから、そのころムシ歯になった人、歯周病になった人とかは大変な思いをされていたんですよ。

歯の痛みというのは、三叉神経といって脳神経の5番目の神経から分かれてきた神経に支配されています。歯の痛みや歯茎の痛みを放置していると、肩まで痛みが続くということがあるのは、三叉神経の一部がそこまで分布しているからです。最近では、どうしたらムシ歯にならなくてすむだろう、どうしたら歯周病にならなくてすむだろう、どうしたら歯並びが良くなるのだろう、噛みあわせが良くなるだろう、段々そういうことがメインになってきた。歯はできるだけ白い方がいいとコマーシャルしております。もちろん白い歯は見た目には栄えます。しかし我々が生活をしていく上で、「噛む」ということが大事なことです。人間生きていくうえで食べることは、欠かせません。体調が悪ければ食べられないです。もちろん歯が痛い、頭も痛いとなれば食欲がないでしょう。普通はおいしく食べられるのに食べられない。食は非常に大事です。食は、私たち歯科に非常に関係しているんです。

食。食べるということ、これは分解したら人に良いと書くんです。人に良いものを食べる。これが食なんです。軟らかい物や甘い物ばかり食べるんじゃないで、自分に適したものを食べられるかどうか。噛み合わせがきちんと出来ているかどうか。そういうことが非常に大事な訳です。

最近ではきちんと噛まないことにより、幼少の頃より顎の噛み合わせが悪くなってきたり、小学校・中学校あたりから噛み合わせがおかしくなったりしています。歯ぐきの周りにきちんと歯ブラシがあたりづらくなり、歯周病が非常に多くなってきております。食べないということは、顎を動かさないでしょう。顎を使わないということは、唾液が出ないことなんです。唾液が出ないということは、口の中が非常に乾燥しやすい。乾燥するということは、口腔内の細菌が働き易くなる。ですから、朝食をとらないとムシ歯になりやすいですね。口をよく動かすことが大事です。噛むということが出来るかどうかというのは、非常に大事なことです。

## 噛むことの大切さ

自分で何気なく朝、昼、夜と食べているけれど、実際自分の口でいつまでも食べることがいかに大事な事かということ。高齢社会になって、認知症、寝たきりが出ます。今は、若い人も認知症になる人が増えてきているんですね。それは噛めなくなることによっても起こると言われてきています。噛めなくなると脳細胞が働かない。活躍しない。噛むことによって末端の神経が生き生きとします。介護されている方は、自分の口で噛みにくいから弱るのです。私たち



が今やっていることは、出来るだけ元気な時から自分の口できちんと噛めるようにすること。もし寝たきりになっても、胃ろうにするのではなく、出来るだけ自分の口で食べることです。

スポーツをやっている人。柔道、剣道、水泳、サッカー、バレーなど、スポーツをやっている人は、スポーツをやっていない人より物凄く筋肉が発達しているんです。ここに筋肉があるんですよ。ほっぺた。頬筋。それが物凄く発達している。顎の筋肉が。スポーツをやるということは上手になることが目的だけど、自然に身体が鍛えられているんですね。口の中も。顎がきちんと発達している人は歯がきちっと並んでいるし、だ液も出る。小学校・中学校・高校・大学時代にスポーツがあるというのは、若い時代にきちんと鍛えることが大事だからです。

歯ぐきは15・16・17・18歳はまだ成長段階です。まだ動いているんです。だいたい20歳前後で完成するんです。ですから、早くにムシ歯になったり、事故で転んで前歯を折ったとか、そういう人たちは将来、噛み合わせがずれたりすることがあるわけです。自分の口は自分で守る。管理することが非常に大事なことです。

生老病死。このことばを聞いたことがあるでしょうか。生（生きる）、老（老う）、病（やまい）、死（死ぬ）。人間、どんな人でも生まれてから最後は亡くなる。生老病死。これはあくまでも流れなんです。だからその流れの中で一瞬一瞬に生きて、老い。そして、病があり死を迎える。絶対死はやってきます。この中で、私たちはいかにその自分の心と身体を健康に保っていくかということです。私たちは「最後まで自分の口で食べられるように」ということを考えながら、毎日仕事をやっているわけです。

車椅子で来られる方、それから杖をつけてこられる方がおられるんですよ。最後まで自分の口で食べたいですね。高齢のおじいちゃん、おばあちゃんは、いかに自分の口で食べ物を食べることがおいしいかということ。これを忘れないでください。あなたたちは将来、立派な身体と立派な心を持って頑張ってもらわないといかんけれども、おじいちゃん、おばあちゃんも若い時はそうだった。だけど、だんだん弱ってくるわけです。それは、身体の免疫機構がだ

んだん弱って歯周病が進行してくるわけです。60代後半から70代になると、もう元に戻りにくい。

皆さん知っているでしょうけど、歯の最外層のエナメル質というのは、身体の中で最も硬い組織なんです。神様が一番硬い組織を歯に与えたんです。これはダイヤモンドでしか削れないですよ。ムシ歯になった歯は、ダイヤモンドでしか削れない。削るとその下に象牙質というのがあるんですけど、象牙質というのはエナメル質の百分の一の固さしかないです。ですから、一旦ムシ歯になると、基本的にもう元には戻らないんです。もちろんケアをすれば10年20年ムシ歯にならないこともあります。神様が歯が一番硬く作られたということは、噛むことがいかに大事かということなんです。噛んで、噛む力を与えたんです。

### ムシ歯の原因

人間がムシ歯になる原因は、甘い物ばかりじゃないんですね。お母さんが妊娠している時に母胎内で出来上がってくる乳歯。皆さんに乳歯がある人はほとんどないと思うけど、高校生でたまたま乳歯のある人がいます。永久歯がなくて乳歯が長く残る人がいるんですよ。20年、30年…。その乳歯、あなたたちは生え変わったでしょう？小学校、中学校にかけてね。その生え変わった乳歯というのは、実はお母さんの母胎内にいるときに出来上がるんですね。その乳歯の出来上がる時はお母さんの妊娠中です。だから妊娠中に非常に体調が悪かったり、妊娠性の色々な病気が出た場合は生まれた赤ちゃんの歯は、歯ブラシで磨いていてもやっぱり弱い歯になってくるわけですね。弱い歯に。永久歯も、生まれてすぐから小学校に入る前の1才から5才ぐらいの時にどういうものを食べたかによって、ある程度強さが決まるんです。ですからムシ歯は甘い物だけが問題ではなくて、元々の自分の歯の強さ、そういうのが大事なんです。あなた方が将来、結婚して何年か先に子



供が出来た時にそれを考えておかなければいけませんよ。やはり親の管理が影響するということです。そして生まれた後の食べ方、どういうものを食べるか。そして、どういうケアをするか、どういう生活をするか、そういうことも非常に大事になってきます。生まれた時から、もっと言えば妊娠中の母胎内にいる時から大事です。

高齢で亡くなるまでずっと歯は活躍していくかなくてはならない。5才、6才頃出てくる第一大臼歯は、簡単な言葉で言うと6才臼歯。この歯は、70年、80年、あなた方の口で毎日働かなくちゃいけないですよ。それを大切にしなければ食べられないんですよ。第一大臼が、噛み合わせの中心になってますからその歯がないと噛みにくくなる人が多いんです。ですから快適な人生を送る為には今からのケア次第です。歯の繋がりがあがるわけです。自分の口の中が働いてもらわなきゃいけない。毎日、鏡で歯ぐき・奥歯をみてあげること。大切にしてください。医療は診査・診断に始まります。痛みが本当に歯から来ているのか、歯じゃなくて別の所から来ているのか、耳の辺りが痛い人、頭が痛いという人も。いろんな人が来るわけですよ。皆一人ひとり口の中の状態が違います。生まれた所も違う、歯の中の硬さも違う。考え方、食べ物も全部違う。その人たちを私たちは毎日診ている訳なんです。

80歳、90歳まで「自分の歯で食べられて良かったね」「いい人生だったな」と言えるような仕事をして行かなければいけないと毎日思っています。日本人は、非常に長生きになりました。しかし、寝たきりや認知症になると、歯や口の中のことが忘れられるんですよ。

本来食べたものはあなたたちの胃に入るけど、急いで食べると肺に入るからむせる。むせた時にあなたたちは若いからむせた物が出せるからいいですけど、寝たきりの人や認知症がひどくなった人とかは、気管や咽頭が弱くなって出せない。それが肺に入り誤嚥性肺炎が起こって、亡くなる人が結構多いんです。冬場は多いんですよ。

ですから噛むことによって、誤嚥性肺炎にならないことです。食べられるということが如何に大事かということです。来院された人の歯が人生の最期までもって、なんとか自分の歯で食べられるように願っています。私たちはしゃべられる範囲で、人と話しながら、その人がどういう生活をしているのか、夜何時に寝ているのか、朝何時に起きているのか、そして何時ごろ食事をしているのか、とかいろんな情報をお聴きします。その人の食べ物に関しても同様です。歯があって、歯ぐきがあって、顎があって、この筋肉があって、そして神経があって、もちろんその上に脳細胞があるでしょう。それらが全て機能して初めて食事ができるということです。

### 食べるということ

脳神経が、はい食べますよ、と言わないと食べられない。あなたたちが何気なく毎日食べているのは、物を認識して、食べ物なんだと認めてから、熱いのかな、冷たいのかな、硬いのかなと認知しながら食べているんですよ。口の中でもぐもぐして飲み込む。この一連の作業をあなたたちは何気なくして食べているかも分からないけど。これは脳と口といろんなものが頑張ってくれたから出てきます。その中の一部を私たちはお手伝いしている訳です。

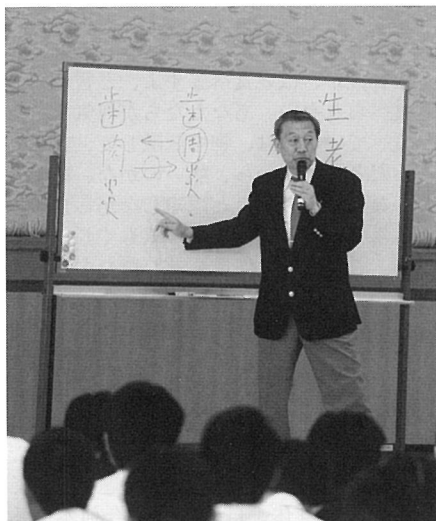
病院って行きたくない所ですよ。本当は行かなくてすめば行かない方がいいんだけど、ムシ歯を治すとかいう問題じゃなくて、自分の身体、自分の歯が今何本あるか、どういう歯ぐきをしているのか、というのは、もう高校生になっているのであれば自分で把握しておいた方がいいかもしれません。もちろん中学生から把握している人もいますが、そうすることによって、自分のことを自分で守る。それが重要です。自分のことを自分で把握しておくこと。知っておくこと。自分の歯ぐきはどうかと。お母さんに聞いてみて私が生まれた時どうだったとか妊娠中つわりがひどかったとか。

心・技・体この3つが揃うために、医療というものはあると思ってるんです。心技体を整えるために、できるだけ、抜いたり、削ったり、歯を切ったりとか無いようにしなくちゃいけない。やむを得ず、しなくちゃいけない手術もあるんですけど。そうしないで済むように、日頃から自分の口の中、自分の管理というものは、自分ですということが大事になってくると思います。38年間やってきまして、楽しいこと、辛いこと、いろんなことがありました。先ほども言いましたように、私は歯科医をやっているんですけど、現在歯科のみのことだけを勉強する時代ではないんです。やはり、医科のことも知っておかなくちゃいけないし、栄養のこと、介護のこと、認知症等いろんなことを知っておかなくてはなりません。

### 歯周病とは

歯周病は糖尿病の7番目の合併症といわれています。糖尿病が進行している人は歯周病も多い。歯周病をできるだけ起こさないように、歯周病が起こってもちょっとした痛みで済むようなことはできるようになってきています。歯と歯ぐきの定期健診を受けているかどうか大切です。

歯周病は糖尿病、肥満、高脂血症、高血圧症、こういった生活習慣病に最も関係してるんです。単なるブラッシングだけで歯周病が治まるのは歯肉炎だけです。ただ歯ぐきだけ腫れる、出血する人。小学生、中



学生とかで出血する人がいるけど、これは全身的な問題は少ないんです。小学生、中学生とかは歯肉炎。歯の肉に問題があるだけです。歯周病には2つあります。歯肉炎は歯ぐきだけ、歯ぐきだけ炎症を起こしています。歯ぐきだけだからブラッシングときちとしたケアを受ければ良くなるんです。

歯周病にももう一つあるんです。歯周炎。歯の周りを書いてあるでしょう。周りというのが問題なんです。実は周りというのは、歯の周りの下に骨があるんですね。歯槽骨。歯は歯槽骨の中に植立しています。その骨に何らかの異常が出かかったのが歯周炎なんです。これは放置していると戻らない。歯肉炎から歯周炎に移行します。炎症というのは、炎と書いてあります。火が2つ書いてある。腫れる、出血する、痛む、膿が出る。これの4つの兆候です。4つ揃わなくてもなるんですけどね。歯周炎になると腫れるのはもちろん、出血したり、きちとしないと膿がでることがあります。それから疼痛、痛みも伴ってきます。

生活習慣病というのは、生活をピシッとしない限りなかなか完全に元には戻りません。歯周炎は50代から60になると全くない人は少ないです。早い人は30代から出現します。親知らずまで入れて、歯は上下で32本あるんです。親知らずのない人は上下で28本。その歯を管理していくことは実は大変なことなんです。その歯を全部歯周炎にしないでおくというのは、噛み合わせの問題、顎の問題、歯並びの問題、いろんなものが関連しているんですね。そういうものをおこさないように将来どれだけ自分の歯で食べるか。今当院に、92歳、93歳のおばあちゃんが来られているけど、歯周炎が殆んどないですね。一本だけ欠けているところがあるから、小さい入れ歯を入れてるんですけどね。あとは全部自分の歯で噛んでらっしゃる。80歳の時に20本以上の歯を保っている人、自分の歯で食べている人の方が病気になるにくいんです。血圧の病気、高脂血症、糖尿病、心臓病、胃腸病、色ん

な病気になりにくいんですね。

## 8020運動とは

8020（はちまるにいまる）運動、聞いたことある人は手を挙げて下さい。80歳前後あたりからかなり体力が落ちるんですよ。男性でも、女性でも、その時に自分の歯をたくさん持っているかどうか。自分の歯で食べてるか。20本以上ある人はやっぱり病気になるにくい。

今来られている92歳のおばあちゃん、他に病気がないんです。必ず半年に1回検診に来られるんです。結局、何も無くても検診に行くということが歯茎に関しては大事なんです。自分では奥歯とか分からないんです。どこかの歯茎が腫れてるとか、噛み合わせがおかしくなるとか。ですから、ほんとは行かなくちゃいけない人が行ってないで、そのおばあちゃんは、きれいだから1年に1回でいいかなってという人が半年に1回来られるから、ますますきれいなんです。

定期的に検診を受けることは、歯周炎に関しては大事なんです。他の病気と体の病気と関連してるんですね。あなた方も卒業して、大学、もしくはどこかに就職される方もおられるか分からないけど、高校までは検診があるんです。大学は検診ではないんです。今、職場検診をやっていますけど、やっているとことやってないところがあります。卒業したら自分で自分を守らなくちゃいけない。やはり自分の体を自分で守る。あなたたち将来、会社勤めたりする人もいるでしょう。会社勤めってね、「あ、歯が痛い、ちょっと欠勤していいですか。」そして、1ヶ月くらいしたら、また痛い。そういう人は、給料がグーッと落とされたりします。アメリカとか特に厳しいですよ。キチッと自分で自分のことをケアする。そうしないと会社がマイナスになるでしょう。だから、キチとした自己管理ができない人、自分の口は自分で守るという気持ちを持っていない人は、特に海外、アメリカ、ヨーロッパ辺りでは厳しいですよ。その度に病院に行っていたらその会社がマイナスになるから給料がダウンします。ですから、キチとした体の管理をするということの中で、口も毎日管理するということが大事です。

## 自分の体は自分で守る

あなた方も今、受験勉強で大変かもしれないけど、20歳過ぎた時に自分の体は自分で守るんだということを考えといて下さい。医師・歯科医師も自分で自分のことをきっちとケアしとかなないと診れないですよ。人を診る。ですから私も、体が強く精神的にしっかりしている間は、患者さんを診たいと思っています。皆さんもまた、将来何十年と働かなくちゃいけないですね。働いて社会に貢献しなくてはいいけない。社

会に出た時に自分の体をしっかり守って頑張っていっていただきたいと思います。

私は歯科の医療を通じながら今振り返って、歯科医師になってよかったなと思っています。皆さんのおじいちゃん、おばあちゃんたちの昔のこと、昔の生活というのは歯の治療をする上で大事なことです。どういう生活をしてこられたか。歯はその人の生活が見えるんですよ。口の中を見たら見える。どういう生活をしてこられたか、どういうものを食べてこられたか。お年寄りに関わらず患者さんからいろんな情報を聞いて、私の診断・診療に活かさなくちゃいけない。そして、その人が自分の人生を全うされるまで、自分の口で食べてもらうこと。それを今ずっと考えているところです。

今日は素晴らしい紺碧の朝（あした）の空ですね。小城高校の1番の歌詞みたいに素晴らしい朝。青空。昼間、暑くなってきましたけど、今は青空ですね。私も久しぶりに小城高校に参りました。大きな楠の木のところで非常にいい風をいただきました。ほんとに拙い話でしたけど、皆さんの貴重な授業時間を割いて話をさせていただきました。ちょっと取りとめのない話だったかも分かりませんが、皆さん本当によく聞いていただいて感謝致します。皆さんには体と心のケアをしっかりしていただきたいと思います。

最後に健康とは、単に病気をしないことではなくて、精神的、肉体的、社会的に健康な人が健康であること。これを最後の私の締め言葉とします。頑張ってください。ありがとうございました。



## Profile

坂井 一弥 (63歳)

小城高等学校 昭和45年卒業  
(高校22回卒)

小城市出身  
日本歯科大学卒業



## 黄城の故郷から

黄城会会長  
岩松 要輔

平成27年度を迎え、全国各地の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察いたします。母校に南接する小城公園は、初夏の候となり樟の若葉とツツジの花に彩られています。

常日頃、黄城会の活動にはご支援ご協力をいただき、感謝申し上げます。黄城会は、明治38年8月に「会員相互の連絡を図り親睦を厚くし兼ねて後進を奨励する」を目的として旧制小城中学校同窓会として発足し、百十有余年にわたり活動が続けられてきました。

昨年度は総会のあと、会報の発行、一般財団法人黄城教育会館の活動、ホームページの刷新などに取り組んできました。また、財務の立て直しのため今回新規に会費のコンビニ振り込みと寄付金受付についてお願いをしています。

ご招待を受けました支部総会へは、坂本小城高校長、大塚前教頭とともに七田副会長、井手副会長と手分けして出席させていただき、各支部の活動の様子を見聞させてもらいました。各支部の母校に対する熱い思いを知ることができました。

今年度の黄城会総会は、恒例の5月3日に母校の体育館において「轍wadachi 心はひとつ・黄城愛・永遠に」をスローガンに、川副伸吾実行委員長を中心として新高42回卒業の皆様のご尽力で素晴らしい会合となりました。総会行事のあと第2部の黄城の集いでは、当日集合された130名余の高校17回卒業の皆さんの卒業50周年祝賀となりご同慶にたえません。第3部のアトラクションでは、「小城高校吹奏楽・合唱部ミニコンサート」、「芦刈太鼓浮立」、「測上史貴ライブ&トークショー」が行われ、楽しい時間となりました。恒例

の饅頭会は来年度の担当回期新高43回の皆さんの接待で大変盛況でした。

さて、母校小城高等学校においては、昭和36年からならなく親しんで参りました4階建ての教室棟が、今年9月素晴らしい3階建ての新校舎に建て変わります。小城高校の敷地は、藩政時代小城鍋島家の藩邸があった場所であり、南の小城公園はその庭園であり、教育施設にとってすばらしい環境にあります。新築の校舎での小城高校の益々の発展を期待しています。

最後になりましたが、黄城会の発展と同窓諸兄弟のご健康とご多幸を祈念申し上げ、平成27年度会報のあいさつといたします。

(平成27年5月20日)



## 母校の近況

校長  
坂本 武敏

私自身、小城高等学校の職員として3年目、教職最後の年となりました。毎年一千名を超す同窓会総会の出席者数、各学年4名計12名の生徒に対する奨学金事業、さらに各地区の支部総会に参加し、黄城会の結束の強さや、組織運営の見事さその活動ぶりを目の当たりにして、ただただ、驚嘆するばかりです。過去1世紀以上にわたって多くの人材を輩出してきた小城高等学校同窓の方々の、後進を育てよう、社会に寄与できる人材を育成しようという熱意をひしひしと感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

本校の現状についてご報告させていただきます。

まず平成27年度大学入試結果等についてご報告いたします。合格者数については現浪合わせた数です。国公立大学合格者数72名（含む佐賀大医学部医学科、九州大学理学部）、私立大学合格者数268名（含む明治大学、法政大学、東海大学、同志社大学、西南学院大学）、短期大学10名、看護学校・専門学校48名、就職8名（含む自衛隊、県警、消防）でした。生徒たちの最後まで努力の

結果、以上のような合格者を出すことができました。

次に、部活動について報告します。運動部、文化部ともにすばらしい活躍でした。

運動部では、高校総体で、運動部指定校枠をいただいている女子柔道部が団体優勝（8連覇中）、個人戦でも多くの優勝者も輩出し、全国大会で中村が5位の成績を収めました。男子柔道部でも個人戦で福地が優勝を果たしています。また、弓道部男子が23年ぶりの優勝を果たし、バドミントン部で女子団体が準優勝、男子シングルス喜多が3位入賞、ソフトテニス部男子重本・北島ペアが2位、少林寺拳法男子演武で村山が2位など活躍しました。また、新人大会においても柔道部女子が団体優勝、男子が団体2位、バドミントン部女子が団体準優勝、空手道男子個人形で中野が優勝、ソフトテニス部女子古賀・西村ペアが2位など活躍し、多くの部が力をつけています。

文化部では、書道部が全日本高校書道コンクールで部門最高賞に陣内、藤原、野中が入賞、準部門最高賞に10人が輝き、団体賞優秀校の第3位に輝きました。また、吹奏楽・合唱部が九州合唱コンクール佐賀県予選で金賞とな

り大分で行われた九州大会に出場しました。書道部、美術部からは茨城県で開催された全国総合文化祭や鹿児島市で開催された九州高文連美術・工芸展、書道展への県代表としての参加、その他県内各種大会でも優秀な成績を収めています。放送部からもアナウンス部門で九州大会に出場しました。文化部の活躍も目を見張るものがあります。

こうした成果だけでなく、本校では、早朝の生徒会を中心とした挨拶運動、吹奏楽・合唱部による施設訪問、図書部の読み聞かせ活動等を行っています。また、天山登山でも、自分で家から火ばさみを持参して登山道のゴミ拾いをする生徒もいます。社会貢献を実践する心と行動に深く感謝します。

「文武一途を旗印に、オンリーワンを社会貢献のできる優れた人材へと育む」というスローガンが実現できる教育環境に恵まれ、支援いただく保護者・同窓会・地域の皆様のご理解、本校教育に献身的に尽力いただく先生方、そして何より素直で真面目な生徒諸君に感謝しながら、微力を尽くし、さらなる前進を目指します。どうぞお立ち寄りいただき、ご叱正・ご指導ください。



# 合格だ!優勝だ!

平成26年度  
学業報告・部活動の成績

## 合格状況 ( )内は過年度卒

【国立大学】茨城大学1/広島大学2(1)/山口大学1/九州大学1/九州工業大学2/福岡教育大学2/佐賀大学19(2)/長崎大学8(1)/熊本大学5(1)/大分大学4(2)/宮崎大学1/鹿児島大学1/琉球大学1

【公立大学】香川県立保健医療大学1/北九州市立大学3(1)/長崎県立大学6/熊本県立大学2/大分県立看護大学2/宮崎公立大学1/宮崎県立看護大学1

【私立大学】帝京大学4/国際医療福祉大学5/東海大学3/明治大学2/同志社大学2(1)/京都産業大学2/近畿大学3(1)/立命館大学2/広島国際大学1/九州産業大学9/久留米大学33/西南学院大学14(2)/中村学園大学6/福岡大学38(2)/福岡工業大学18(1)/福岡女学院大学4/筑紫女学院大学4/九州看護福祉大学2/西九州大学16(2)/長崎国際大学1/活水女子大学6/立命館アジア太平洋大学3/その他の大学75(6)

【短期大学】私立短期大学10

【その他】文科省外大学2/高等看護学校20/医療系専門学校14/その他専門学校14/就職8

## 部活動の成績

### 【体育部】

#### 1. 柔道部

○第25回小城観桜女子柔道体重別選手権大会/女子優勝 中村茉那美・西谷史佳・田中正子・池田百花  
○第52回佐賀県高等学校総合体育大会/女子団体優勝/女子 第1位



ソフトテニス部

(全国大会出場) 中村茉那美・西谷史佳・水原梨里花/男子 第1位(全国大会出場) 福地翔磨

○平成26年度全九州高等学校体育大会/男子第3位 福地翔磨

○平成26年度全国高等学校総合体育大会/女子 第5位 中村茉那美

○平成26年度佐賀県高等学校新人体育大会柔道競技大会/女子団体 第1位/男子 第1位 岸川陸/女子 第1位 水原梨里花

#### 2. バドミントン部

○第52回佐賀県高等学校総合体育大会/女子団体 第2位(九州大会出場)/男子シングルス 第3位/(九州大会出場) 喜多勇介

○第39回佐賀県高等学校生徒バドミントン競技学年別大会/第2学年 男子 第3位 荒谷聖也/第1学年 男子 第3位 税所歩実/第1学年 女子 第3位 村岡彩香

○平成26年度佐賀県高等学校新人体育大会バドミントン競技大会/女子団体 第2位 九州大会出場/女子

ダブルス 第3位 村岡彩香・平山楓/男子ダブルス 第3位 船津丸悟・荒谷聖也

○第60回筑紫野カップバドミントン大会/女子ダブルス 優勝 村岡彩香・平山楓/女子シングルス 優勝 村岡彩香/男子シングルス 第3位 税所歩実

#### 3. 陸上競技

○第52回佐賀県高等学校総合体育大会/男子4×100mR 北九州地区予選会出場 古川新悟・野中竣介・辻田祐太郎・石橋聖我/男子4×400mR 北九州地区予選会出場 野中竣介・辻田祐太郎・古川新悟・陣内翔一

○第52回佐賀県高等学校総合体育大会/3000m 北九州地区予選会出場 廣瀬咲紀

#### 4. バレーボール

○平成26年度東西松浦高校生バレーボール唐津大会 準優勝

#### 5. 野球

○第25回唐津地区高等学校野球一年生大会 優勝

#### 6. 弓道部

○平成26年度佐賀県高等学校弓道春季大会高取杯/男子個人 第2位 石隈湧太

○第52回佐賀県高等学校総合体育大会/男子団体 第1位/全国大会出場 野田・石隈・江島・岡本・鶴丸・吉原・大久保

○第7回佐賀県弓道連盟会長杯/女子の部 総合 優勝 井上悠/青年女子の部 優勝 井上悠/青年女子の部 準優勝 納富晴美

#### 7. ソフトテニス部

○第52回佐賀県高等学校総合体育大会/個人戦 第2位/全国大会出場 重本昇臣・北島武



書道部

○佐賀県ソフトテニス高校生夏季大会／第3位 香田啓利・永石達也  
 ○平成26年度佐城地区高等学校ソフトテニス秋季大会／女子個人 第2位 西村結花・古賀葉奈美／男子団体 第2位／男子個人 第2位 宮原尚也・樋渡成樹／男子個人 第3位 香田啓利・永石達也  
 ○平成26年度佐賀県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技会／第3位 古賀葉奈美・西村結花  
 ○平成26年度佐賀県秋季ソフトテニス選手権大会／一般女子 準優勝 古賀葉奈美・西村結花

## 8. 少林寺拳法

○第19回少林寺拳法観桜大会／運用法高校生個人の部 第1位 村山弘和／高校生単独演武 第2位 村山弘和  
 ○第52回佐賀県高等学校総合体育大会／男子単独演武 第2位／全国大会出場 村山弘和

## 9. 空手道

○平成26年度佐賀県高等学校新人体育大会空手道／男子個人型 優勝 中野朋輝  
 ○第35回天神旗少年空手道大会／高校生男子型の部 準優勝 中野朋輝  
 ○第24回九州地区選抜空手道選手権大会／高校男子型の部 第3位 中野朋輝

## 10. 卓球

○第56回唐津オープン高校卓球大会／男子Iパート 優勝

## 【文化部】

### 1. 書道部

○第20回九州高文連美術工芸書道写真展鹿兒島大会 書道部門／優秀賞 江副日向子  
 ○第15回高校生国際美術展／全国書道高等学校協議会賞 藤原朱里  
 ○第42回七夕書道展覧会／県教育長賞（2席） 相島加奈美／特選 中原明香里  
 ○梧竹・蒼海顕彰第22回佐賀県書道展 二科高校生漢字部門／優秀賞

原田佳奈

○第66回佐賀県高等学校席書大会／奨励賞 中原明香里  
 ○第25回中林梧竹翁顕彰席書大会／梧竹記念館賞（4席） 陣内里菜  
 ○第43回全国高校書道展／特選 相島加奈美  
 ○第39回佐賀県書作家協会展／書作家協会賞（1席） 藤原朱里／書道教育連盟賞（2席） 江副日向子／特選 相島加奈美  
 ○第13回岐阜女子大学全国書道展／佐賀県教育委員会教育長賞 藤原朱里／書道展賞 熊手はるな  
 ○第26回佐賀県高等学校総合文化祭書道部門／特選（九州大会出場） 手塚伊都／奨励賞 澤田百江・熊手はるな・藤瀬法子  
 ○第37回中林梧竹翁顕彰書道展／梧竹記念館賞 相島加奈美／商工会議所賞 野中友莉香  
 ○第39回佐賀県高等学校臨書展／特選 相島加奈美・江副日向子・藤原朱里・野中友莉香／特選 手塚伊都・陣内里菜・白濱郁・明石智佳／特選 藤瀬法子  
 ○第9回尚綱大学高校生書道展／尚綱大学同窓会賞 藤原朱里  
 ○第28回全日本高等学校書道コンクール／部門賞（伊都内親王願文賞） 藤原朱里／準部門賞（準温泉銘賞） 藤原朱里／準部門賞（準張猛龍碑賞） 相島加奈美／準部門賞（準木簡賞） 相島加奈美  
 ○第20回全日本高等学校書道コンクール／全日本高等学校書道教育研究会賞 江副日向子・原田佳奈・藤原朱里／団体優秀校 第3位小城高校／部門最高賞（行書創作賞） 陣内里菜／部門最高賞（伊都内親王願文賞） 野中友莉香／準部門最高賞（準木簡賞） 澤田百江／準部門最高賞（準漢字仮名交じり文創作賞、準裴將軍詩賞） 手塚伊都／準部門最高賞 熊手はるな／準部門最高賞（準龔宝子碑賞） 古賀純奈／準部門

最高賞（準祭姪稿賞） 森愛莉／準部門最高賞（準哀冊賞） 藤瀬法子  
 ○第16回高田保馬博士顕彰書道展／金賞 野中友莉香

## 2. 美術部

○第67回佐賀県高等学校スケッチ大会／特選 上山葉子・中村智子／準特選 米倉美穂・山下真歩  
 ○第20回九州高文連美術工芸書道写真展鹿兒島大会／美術・工芸部門 優秀賞 上山葉子  
 ○第26回県高校総文祭／美術・工芸部門 準特選 持永温子／佳作 久我愛実・平井敦浩・田代瑞季  
 ○第53回佐賀県高等学校デッサンコンクール石膏の部／特選（2席） 上山葉子／静物の部 準特選 平井敦浩・持永温子／奨励賞 野村明日香  
 ○西日本読書感想画コンクール／優秀賞 野口郁佳  
 ○第58回西日本読書感想画コンクール／入選 持永温子  
 ○平成26年度 佐賀県子どもUD作品コンクール／大賞（知事賞） 岸川亜未／優秀賞 辻采可／学校特別賞

## 3. 放送部

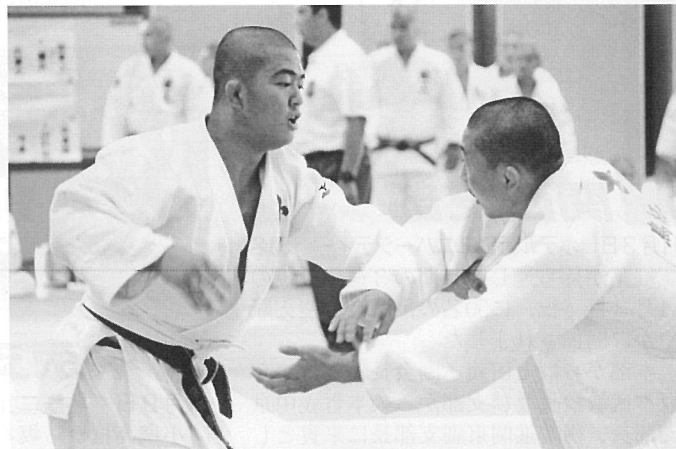
○第61回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀大会／朗読部門 奨励賞 田尻美羅乃  
 ○第38回佐賀県高校放送コンテスト・第26回総文祭放送部門／アナウンス部門 優良賞（九州大会出場） 大家千佳／アナウンス部門奨励賞 田尻美羅乃  
 ○平成26年度アバンセ杯放送コンクール アナウンス部門／最優秀賞 大家千佳／九州龍谷短期大学賞 大家千佳

## 4. 吹奏楽合唱部

○第53回九州合唱コンクール佐賀県予選／金賞  
 ○第69回九州合唱コンクール／銅賞  
 ○第20回佐賀県ヴォーカルアンサンブルフェスティバル／ハーモニー賞



柔道部



柔道部

# 支部総会報告

平成26年度

## 関東支部

10月26日 京王プラザホテル 100名

本部から岩松会長、大塚教頭先生、中京支部より久本支部長が参加され総員百数名で盛大に開催されました。

1部は32回卒の川副事務局長の司会で始まり、総会の議事は滞りなく議決され、来賓の岩松会長、大塚教頭先生から小城高や黄城会の現況等説明がありました。少子化の傾向は続き相変わらず県内と近隣県へ進学が多く、関東、関西への進学は少なくなっているようです。

2部「黄城の集い」は、14卒榑崎幹事長の司会で、はじめは最長老で旧中40回卒石盛要さんの乾杯で始まりました。

余興は日本をベースに中国十二楽坊を指導したりして世界中で演奏活動をされている揚琴の名手、成 燕娟が娘さんの二胡との合奏を披露され、中国の名曲から日本の現代歌謡までしっかりと演奏され、みなさん魅了されました。

続いて上京者の26年度の実行委員41回卒の方々がお礼を兼ねた挨拶をされ、昨年に続き東島朗前実行委員長のパフォーマンスに会場内は大爆笑でした。

来年の総会担当42回卒の実行委員が27年5月3日の総会への参加を要請されました。

取り寄せた岸川まんじゅうも京王プラザホテル総支配人からの差入れのケーキも美味しく頂きました。

最後に石田幸子副支部長から来年も又元気で再会できることを祈念して関東一本締めをして解散しました。

(高校14回 関東支部副支部長兼幹事長 榑崎 進)



## 関西支部

11月3日 ホテル近鉄ユニバーシティ 50名

紅葉が待ち遠しい時期の3連休最後の11月3日(祝)に50名の出席者を迎え賑やかに開催されました。

本部からは七田義孝副会長、学校から坂本武敏校長及び支部から久本哲義中京支部長、榑崎進関東副支部長に来賓としてお越し頂きました。

関西支部では、41期生の当番幹事を含めた実行委員会組織で総会準備を進め開催しました。他支部と日程が重なった為に開催日を変更し、実行委員のメンバーで会場探しの為に大阪の街を歩きました。

昨年は大阪で2つの大きなイベントがありました。3月7日に阿倍野ハルカスがオープンし、7月15日にはユニバーサル・スタジオ・ジャパンのハリウッド・ポッターエリアがオープンしました。実行委員メンバー全員の賛成で、出席者の皆様にユニバーサルの雰囲気味わって頂こうと会場を決定し、5年ぶりの会場変更を幹事会に諮り決定しました。

総会第1部では七田副会長に他支部の状況などを教えて頂き、坂本校長より小城高の後輩たちがクラブ活動含め活躍している状況などお話し、榑崎副支部長には支部での活動などをご紹介頂き、支部活動の活性化策など非常に参考になるお話を頂きました。

第2部は、久本中京支部長の乾杯の音頭のあと、関西在住41期生当番幹事の高塚さん、佐藤さんのペアが司会を務め、本部福島副実行委員長その他5名の方々がバックアップし盛大に盛り上げてくれました。

江頭勇哉トークライブ、利き羊羹ゲーム・目隠しドリンク当てゲーム・100円総取りジャンケンゲームなどで楽しい時間を参加者全員で過ごしました。

閉会後のお別れは40期生、41期生、42期生のみなさんがアーチを作って頂き、出席者全員を「来年も元気で総会で顔を逢わせましょう」と声をかけて見送りしてくれました。

関西支部ではホームページが設置されました。支部の活動を会員の皆様並びに黄城会全支部との交流にも役立てていきたいと思っています。

(高校31回 関西支部事務局長 古賀 和良)



## 中京支部

11月9日 名鉄ニューグランド 30名

小城高校から坂本武敏校長先生が出席され、黄城会本部から井手真喜子副会長

が出席されました。来賓として山崎禎昭関東支部長、古賀和良関西支部事務局長、榑原ユクヨ名古屋佐賀県人会会長が参加され、川島公子副支部長のテンポのいい司会で進められました。

2部の懇親会では新高41回黄城会総会実行委員3名より今年度の黄城会総会のお礼の挨拶があり、新高42回黄城会総会川副伸吾実行委員長他4名より来年度の黄城会総会に向けての挨拶と会員券購入のお願いがありました。MOBAの生バンド演奏があり飛び入りの新高40回の堤淳さんの生ギター・ハーモニカ演奏で歌に拍手喝采でした。また新高9回の服巻鴻志さんは詩吟を披露されました。そのあとジャンケンゲーム、校歌斉唱で盛り上がり、庭木利秀副支部長の閉会の言葉で散会となりました。

会場にはスタンドグラス・絵手紙・写真・ポスター・DVDの展示コーナー、佐賀県物産のお土産コーナーと手作り感あふれる総会でした。

来年の黄城会中京支部総会は20回を迎えられるとのこと、中京在住の黄城会員の多数の参加を期待しております。

(高校11回 中京支部支部長 久本 哲義)



## 関門・北九州支部

11月16日 リーガロイヤルホテル小倉 17名

榑間支部長体制になっての初めての関門北九州支部総会を開催いたしました。ご来賓の岩松黄城会会長、大塚教頭先生をはじめ6名の新旧実行委員の方において頂きました。支部員の参加状況は相変わらず今一つであり、今後の支部運営に関する問題提起も行われましたが、引き続き「関門・北九州支部」として独立して活動していくことが確認されました。

いつもながらですが、決して規模の大きな総会ではありませんが、支部員・来賓が和やかな雰囲気楽しんでひと時を過ごしました。また、今回は特に、新しく転居により参加された原田さん(高校20回)からシルバーリハビリ体操の実演指導を行って頂き、支部員とご来賓の方々が一緒に盛り上がりました。今後も関門・北



九州支部が盛り上がるように一人でも多くの方の参加をお待ちしています。

(新高35回 宝蔵寺 和夫)



## 福岡支部

10月11日 福岡国際ホール 135名

台風19号の動向も気になる10月11日(土)、岩松会長、坂本校長をはじめ多数のご来賓のご臨席を賜り、盛大に執り行われました。武富支部長の挨拶により「総会」が開会され、ご来賓の祝辞、山口幹事長より決算報告と役員改選、新設の議事提案がなされ承認されました。

引き続き「同窓会」が開始となり、「博多弁ラジオ体操」では日頃の運動不足からか、ごこちない動きでしたが、文武両道の黄城会会員の皆さんは曲の後半には滑らかな動きとともに楽しんでいました。池田副支部長の乾杯で楽しい歓談が始まり、17回卒の津村さんのフラダンス披露もありました。アトラクションの「紙コップタワー積み」で悪戦苦闘する姿には会場も大盛り上がりでした。旧中、高女の校歌に続き、高校校歌を斉唱し、来年の再会を約束して万歳三唱で修了でした。楽しい時間はあっという間でした。

(高校41回 柳島 倫靖)



## 唐津支部

2月1日 虹の松原ホテル 37名

本部より岩松会長、外尾事務局長、母校より坂本校長先生、佐賀支部、福岡支部の役員の方も来賓としてお越しいただきました。

総会では、白石支部長の支部活動の報告と今回で第4号となる支部会報を配布しました。次に来賓の皆様からは、黄城会本部や各支部の活動の紹介、最近の学校、生徒たちの近況をうかがいました。また、総会実行委員の方には昨年参加のお礼と感想を、今年の総会の案内と抱負を発表してもらいました。

懇親会では、唐津支部の参加者の皆さんから近況を話していただき、アトラクションとして当支部の江口さんとお仲間による「ひょっとこ踊り」、「長生き音頭」

の披露、江口さんの指導により全員で昔懐かしいお手玉をして盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

(高校28回 唐津支部事務局長 鮎川 正博)



## 佐賀支部

10月19日 ホテルニューオータニ佐賀 165名

平成27年度本会総会担当回期である私達「高校42期」から参加させていただきました。

準備段階からその規模の大きさは理解していたつもりでしたが、当日、先輩諸氏がお揃いの会場の雰囲気にも圧倒され…「担当させていただいた役割を完遂させること」で頭が一杯でした。

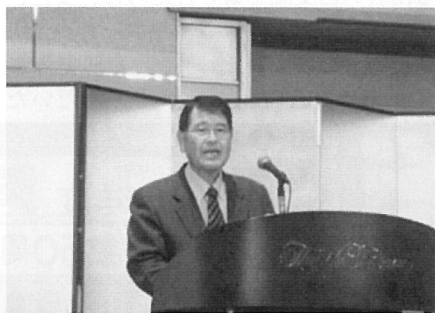
総会には41期の先輩が司会を務められる中、江里口支部長のご挨拶に始まり、岩松会長・坂本校長先生の来賓祝辞と進み、次期総会について我が回期の川副実行委員長からスローガンの「轍」の紹介とともにご案内をさせていただきました。

懇親会時、各テーブルにご挨拶をさせていただき、それぞれの回期の先輩方の縦の繋がり、同期の横の繋がりを感じさせていただきました。

我々42期もこの繋がりのおかげで、次の後輩の回期に繋げ、スローガンに掲げた「轍」としていければと思います。新たにしました。

このたびの佐賀支部総会の開催、誠にありがとうございます。

(高校42 末吉 浩昭)



## 多久支部

2月8日 北多久公民館 60名

当日は、あいにくの雨模様ではありませんでしたが吉浦支部長をはじめ、多久支部相談役として横尾多久市長、ほか約60名の出席がありました。また来賓として初めて佐賀支部からも、江里口佐賀支部長他の出席を頂くことができ、第1部の総会に引き続き第2部では、アトラクションとして昨年、岸川節全国大会に出場されました佐賀竹聖会の皆さんによる「岸川節」や「相撲甚句」等の民謡をご披露いただきました。また第3部では、懇親会をおこないました。時間に限りがある中での開催ではありませんでしたが、諸先輩の皆様方と十分に親睦を深め有意義な時間を過ごすことが出来ましたし、新高37回卒業生であります宮原鉄哉さんにも懇親会を盛り上げていただきました。(写真参照)最後に来年も皆さん元気で多久支部総会に出席することを確認し、尾形副支部長の万歳三唱で散会いたしました。

(高校41回 原 優一郎)



## 県庁支部

8月29日 グランデはがくれ 43名

総会には、黄城会本部の岩松会長(高校10回)、母校小城高校の坂本校長、佐賀県議会の伊東議員(高校32回)、藤木議員(高校38回)ほか、多くのご来賓の皆様にもご出席を賜りました。

県庁支部は、佐賀県政に関わる様々な部門で勤務する職員で構成していますが、様々な分野があり、職場も県内全域に広がるため、必ずしも、同窓の職員同士が顔を合わせて話をする機会は多くありません。

懇親会では、佐賀県の関係部門で働く仲間同士の語らい、懐かしい昔話で大いに盛り上がり、最後は全員で校歌を熱唱しました。

県庁支部の会員一同、これからも佐賀県の一層の発展に貢献できるよう、頑張っていきたいと思います。

(高校31回 県庁支部長 南里 隆)





高校 17 回  
梅谷 雅和

小城高等学校を卒業して50年を迎えました。ここ数年は、黄城会会報誌“黄城”を住所が判った卒業生全員に送付していただくようになりましたが、以前は事務局からの情報を得ることが無く、総会が開かれている事すら知りませんでした。そこで従来と多少違う感想を書かせてもらいます。

同窓会に参加するようになったのは、平成2年の黄城会総会実行委員を担当した年から5年後、17回生の同期会が琵琶湖のホテルで開かれ、故内田昇君や真子政光君や金子津奈男君から誘われて渋々参加したこと。二つ目は、同時期中京支部を関西支部から独立させて新たな支部設立の動きがあり、旧中の先輩から誘いを受けて参加したこと。三つ目は、中京支部総会へ黄城会総会実行委員の方々が来訪され、人手不足もあり快く手伝いをして貰った為にチケットを購入し、勿体ないので翌年総会に出席したところ、同期の方々が暖かく歓迎してくださったことです。

50年前の高校生活を振り返っての思い出と言っても、スポーツも得意ではなくクラブにも所属せず、精々生徒会役員に選出され活動したこと、文化祭で歌のバックバンドをしたこと、2年生のホーム旅行で唐津まで自転車旅行の思い出がいっぱいありません。

社交的ではなかったため、交友範囲も狭く25年目の同窓会では3分の1位しか顔が分からず、殆どの方とは、そこから新たに知り合いお付き合いが始まりました。

今年の5月2日の唐津での卒業50周年記念同窓会は全国各地から104名の出席者がありました。

お天気にも恵まれ、ホテルからの虹の松原や真つ青な海の景観は素晴らしく、宴会ではシャンソン・日舞・ハーモニカの演奏等芸達者な方も多く充分に楽しませて頂き、あちらこちらで懐かしむ笑い声が絶えませんでした。最後は全員でのフォークダンスで大いに盛り上がりました。

一方、黄城会をこよなく愛し各支部の

同期生のまとめ役として活躍してくれていた関東支部の松本勇君、関西支部の内田昇君をはじめ48名の方が、亡くなられておられ出席が叶わなかったことも、司会の方から報告があり一抹の淋しさと無念さを感じました。

翌3日の本番の総会当日は、一日中雨降る中でしたが唐津より母校に参りました。学校全体は、管理棟以外は全て建て替えられていて、在学当時を偲ばせる物は樟の大木と椋の木だけとなってしまっていました。

黄城会総会は、在校生のブラスバンドの演奏で私達17回生9名による旧中、高女、新高の校旗入場の大役に始まり、議事進行が進められました。卒業50周年記念同窓会ということもあり、今回は松尾剛之幹事長のファイナル同窓会との案内が功を奏し、黄城会史上最大の総勢137人が壇上に上がり総会出席の方々より暖かい祝福を受け、その上お祝儀や花束まで頂き感無量でした。総会後の黄城教育会館2階での同窓会にも、殆どの方が参加され新たな出会いも生まれて、本当に50年前の青春時代に戻ることが出来ました。

更に、同窓会終了後、希望者のみでしたが梅田昌司君の紹介で、50人近くの人達と古湯温泉・鶴霊泉への宿泊と三日間に亘り、卒業後50年の人生を重ねてきた人たちのそれぞれに違った味わいを楽しむ事が出来ました。まだまだ元気な人が多く、皆さんのこれからの人生に更なる幸多かれとエールを送ると共に、新たな出会いと交流を楽しむために、また、お会いしましょう。

また、50周年記念同窓会の準備等に大変な手間と時間をかけていただいた

松尾剛之君をはじめ、地元幹事の方々の対応には頭が下がるばかりです。本当に有難うございました。

我々みんなお客様でなく当事者であることを自覚して、今後の活動に生かしていかなければと思いを新たにしているところです。

ところで、老婆心ながら私が思うには、全国に散っている会員の為にまず会員の情報把握をもっと密にできないだろうか。これだけ激しく変化している世界、日本の中で、同窓会って何？目的は？新たな位置づけ、存在意義を見つけ出していけないと、生徒数もどんどん減少しています。116年続いている黄城会も、縮小、ジリ貧になっていく可能性大です。

目的を具体的に打ち出し、実行していく必要が強まっていると感じるのは、私だけでしょうか。

更に実行委員の方々の負担を軽減するためにも、総会の有り方を検討していく必要があると思います。当番回期や卒業50年目の回期だけ大幅な出席で、残りの回期は少数という総会はおかしいと思いつつも、この機会がなかったならば、大勢の同期生と顔を合わす事もなく、母校は遠く、ただ懐かしむだけのものだったかもしれません。先輩、同期生、後輩より新たな活力を頂いたのも事実です。

最後になりましたが、今回の総会の準備、運営、後始末にご苦労頂いた42回生の実行委員の方々や43回生の副実行委員の方々に只々感謝の念でいっぱいです。大変お世話になり有難うございました。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

また、黄城会及び小城高等学校の益々の発展を心からご祈念申し上げます。



## 高校で見つけたオンリーワン

藤原 朱里（福岡教育大学）

高校生活の3年間、学業と部活動を頑張る中で私は多くのことを学びいろいろなことを得ました。小城高祭をクラスの友達と協力し作り上げ絆を深めたこと、受験の時は共に励まし合い勉強を頑張ったこと、これらの経験はどれも大切な宝物ですが中でも書道部で過ごした日々は私にとって大変かけがえのないものとなりました。

高校で芸術書道を初めて習い、古典の臨書や創作にも取り組みました。新しい世界への一歩に胸が高鳴りました。また、数々の大会で入賞したことは更に書道への意欲を大きくさせるものでした。時には上手く作品を仕上げることができず悩んだこと

もありましたが、御指導いただいた先生の「日々のきちんとした生活や挨拶、感謝の気持ちを忘れず精神を高めることが大事です。書を通じて己の精神を磨きなさい。」との言葉をしっかり考え、日々練習を積み重ねてきました。その結果、個人としては高校総合文化祭で全国大会へ出場、団体では全日本高校書道コンクールで団体賞優秀校の3位に入賞することができました。また文化祭で行った書のパフォーマンスでは一つの作品を部員全員で気持ちを合わせて作り上げ、仲間と協力することの素晴らしさを改めて感じました。これらの経験は私の中で「書道の素晴らしさを多くの人達へ伝えたい」という

思いを強くさせるものとなりました。

私は小城高校での3年間で自分だけのオンリーワンを見つけることができました。ここまでこれたのも御指導いただいた先生方や共に頑張ってきた仲間のお影です。これからは福岡教育大学で書道の知識を更に深め、書道を通じて社会に貢献できるように頑張っていきたいと思います。



## 高校生活をふり返って

北島 武（佐賀大学理工学部機能物質化学科）

私はこの3年間、「文武一途」を実現することを目標に自分なりにがんばってきました。結果を見てみると完全に目標を達成できたとは言えませんが、とても密度の濃い3年間を過ごすことができ、学力や体力、そして精神力も向上させることができました。

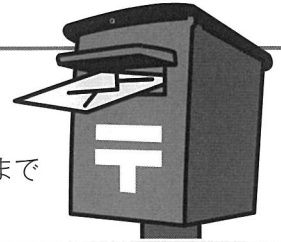
部活動ではインターハイに出場することを目標にして仲間と競い合いながら日々の練習に取り組みました。同学年の仲間はもちろん、先輩方や後輩たちとも協力し、3年間が伸び続けることができました。私が2年生のときは先輩方と共に戦い、県総体の団体戦で準優勝することができました。学年を越えて協力することのすばらしさを実感するこ

とことができました。また、3年生のときは個人戦で準優勝し、インターハイに出場するという目標を達成することができました。少ない練習時間の中で工夫して取り組むのは大変難しいことでしたが、このような結果が得られたことには満足しています。これは仲間や先生方、両親の協力無しに実現することはできなかったと思っており、感謝しています。

部活動を引退してからは受験生として本格的に勉強しました。毎日の勉強量も増え、睡眠時間は短くなり、思うように伸びない成績に悩み、苦しい日々が続きましたが、先生方の熱意や励まし、そしてなにより一緒にがんばってきた友人の姿に支えられて最後まで粘り強くやりぬくこと

ことができました。私は第一志望だった熊本大学の前期日程を受験しましたが不合格となり、周りの友人たちが合格に喜んでいる中、後期受験に向けて勉強をしました。このときの苦しい経験が今後の私を支えてくれると思います。小城高校で学んだことを胸にこれからも前に進んでいこうと思います。





## 大石孔兄、順子夫人、岳父、藤井儀作氏を悼む。

東京都福生市熊川 石盛 要(旧中40回)

孔と書いて「トオル」と読む。昭和18年卒業の吾々40回生136名のトップで、卒業式では全員を代表して卒業証書を当時の森鷹一校長(旧中11回、大正3年卒業、前任地は旧小城高女校長、旧高女校歌の作詩者)から受け取った。

同年、旧制佐賀高校理科に合格。理系のため徴兵猶予となったが、翌年になると、農村での勤労奉仕、三菱長崎造船所への勤労働員など学業以外での生活を体験した。(当時、長崎高商に在学中の私も同造船所に動員されていたが、どの部署にいたか知る由もなかった。私は文系だったため、志願して旅順海軍予備学生教育部に入隊、長崎を離れた。)

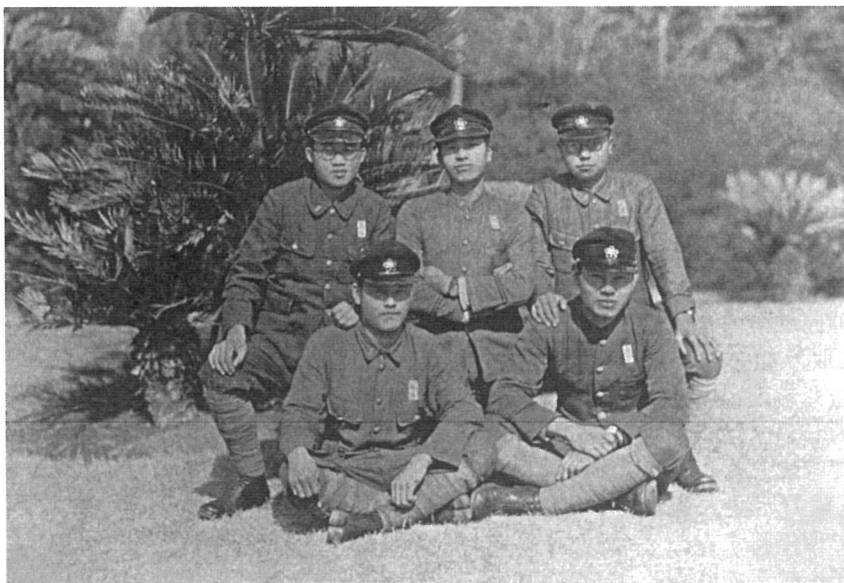
動員解除後、旧九州帝大理学部化学科に進学したが、20年6月19日、B-29爆撃機約60機による福岡空襲で下宿が全焼し、戦争の惨禍を嘗めた。日本精蠟に入社後、油脂、石油系ワックス、動植物蠟関係の業務に従事、同社徳山研究所長などの要職を歴任、昭和58年定年退職、多久市に帰り、畑で野菜作りを楽しみ、庭木、盆栽の手入れに精を出し、文字通り晴耕雨読の生活をしてきた。その間、学

生時代から親しんだ剣道の縁で旧制佐高剣友会委員として、会の運営に与り、会報の編集に力を尽した。

岳父、藤井儀作さんは旧中21回卒で、旅順工科大学機械科を経て、南満洲鉄道(通称満鉄)に入社、一家は鞍山、大連、奉天(現瀋陽)、四平街、吉林、牡丹江と移り住み、戦後、幾多の辛酸を嘗めて故郷に引き揚げ、炭鉱閉山が続出した大変な時機、昭和36年から52年まで4期16年の長きに亘って多久市長を勤められた。平成3年に逝去された。

順子夫人は鞍山生まれ、昭和20年には奉天朝日高女の3年生で、学徒動員で連日、防毒マスク作り、防空壕掘り、菜園作り、看護学の習得などの勤労奉仕に励んでいた。平成23年11月23日他界。後を追うように、25年4月10日、孔兄も西方浄土へ旅立った。享年87。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

写真は唐津線で汽車通学を共にした北多久班の連中。卒業式直後、小城公園で。左から前列、桃崎義人、木下末司。後列、大石孔、村山浩蔵、石盛要。





## 第12回ゴルフコンペ 優勝 西 豊 氏!!

毎年恒例の第12回黄城会ゴルフコンペ（佐賀支部主催）が5月17日（日）大和不動カントリークラブに於いて開催されました。総勢55名の参加があり西豊氏の優勝で幕を閉じ無事終了することができました。また参加者からチャリティー募金が寄せられましたので、黄城会に贈らせていただきました。

なお上位入賞者の方々は右の表のとおりとなっております。開催にあたって準備等ご尽力いただいた方々誠にありがとうございました。

優勝	西 豊
準優勝	鶴丸 達男
3位	小山 晃
4位	前田 憲秀
5位	堤 謙太
6位	福地 経人
7位	柿本 将秀
8位	水田 信
9位	古賀 正人
10位	尾形 健二

## 平成27年度支部総会予定日

\*平成27年度の支部総会開催日をお知らせいたしますのでご参加ください。（時間、会場等は各支部へお尋ねください）

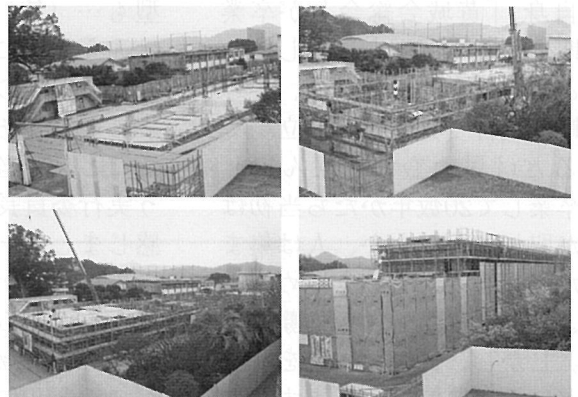
支部名	予定日	氏名	電話	支部名	予定日	氏名	電話
関東	H27 11/1(日)	副支部長兼幹事長 樫崎 進	042-324-5857	長崎	未定	副支部長 大場 勝彦	095-823-0637
関西	H27 11/1(日)	事務局長 古賀 和良	072-224-4680	唐津	H28 2/7(日)	事務局長 鮎川 正博	090-4997-1372
中京	H27 11/7(土)	事務局長 堤 淳	056-152-9252	佐賀	H27 10/25(日)	事務局長 圓城寺重憲	0952-33-0727
関門・北九	H27 11/15(日)	事務局 山口 孝美	093-771-0081	県庁	未定	幹事長 神代 芳男	0952-25-7221
福岡	H27 10/10(土)	幹事長 山口 順蔵	092-591-2847	多久	H28 2/14(日)	事務局長 古賀 通雄	0952-75-3629

### 《 事務局からのお知らせとお願い 》

#### 普通教室棟改築などのスケジュール

車でご来館のときは、図書館北側に駐車してください。

- ①教室棟改築工事 平成26年9月～平成27年8月
- ②渡り廊下その他の工事 平成27年10月まで
- ※新校舎への引越し 平成27年9月
- ③駐輪場工事 平成27年10月～平成28年2月
- ④舗装・植栽工事 平成27年12月～平成28年2月



### 黄城会総会を終えて



2015年度黄城会総会実行委員会  
実行委員長 川副 伸吾 (高校42回)

黄城会総会を5月3日に終えて、振り返ってみると大型連休の中その日だけなぜか終日雨でした。それでも千百人を超えるほどの参加をいただくという結果で大盛況でした。

1年半ほど前、41期の先輩から来年当番なのでと招集され、1回目の集まりがわずか4～5名から始まったメンバーがやがて数10名となり総会当日は120名を超える42期の仲間が集う事が出来ました。小城高等学校を卒業して25年経ちました。

メインテーマ「轍」。サブテーマ「心はひとつ・黄城愛・永遠に」

「轍」とは分かりにくいのですが、辞書には、(輪・立ち)の意。車の通った道の跡とあります。

私達42期はこの「轍」へ小城高等学校の先輩が築きあげてこられた歴史と伝統を引き継ぎ、それを再び後輩へ伝えていくという思いを込めました。42期はこの1年で心はひとつになり、学舎への思いを強めました。

黄城会総会とは何でしょう。当番会期を43歳でむかえ、今はそれぞれの道を歩み、物事への価値感が違い、生活環境も違う、そんな私達が再び再会出来た総会。そして総会の実行という任務を与えら

れて大変な事もありましたが、みんな協力して築いた総会。

高校時代は話をした事もなかった同級生も今回初めて話をして仲良くなった。バカやってた仲間とも再会出来て良かった。

黄城会総会では、いくつか粗相がありました。不愉快な思いをされた方へお詫びを申し上げます。

そして最後に、諸先輩、同級生、後輩、関係者の皆様へ感謝の意を表し、さらに黄城会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

### 饅頭会を終えて



2016年度黄城会総会実行委員会  
実行委員長 樋渡 明宏 (高校43回)

先ず以て、何かと至らぬ点があり、不快な思いをされたこととお詫び申し上げますとともに、生憎の雨にもかかわらず多くの皆さまに参加いただき、饅頭会が盛会のうちに終われたことに心から感謝申し上げます。

私自身、「黄城会総会」が卒業した期生単位で運営を担当していくことは知っていたものの、まさか43期の実行委員長という立場で携わるとは思いもしませんでした。卒業して20数年がたち当初は連絡が取れるだろうか、人は集まるのだろうか、何をどう進めていけばよいか…と不安ばかり募りました。しかし、打ち合わせを重ねるごとに徐々にではありますが、協力してくれる人数も増え、頼も

しい後押しの約束と精神的に動いてくれる役員が存在で「何とかやれるのでは？」という気持ちになりました。打ち合わせに参加してくれる顔ぶれには、卒業以来の再会の顔もあり、見違えるように変わった顔もあれば見事に育った体型も…(笑)。ただ、高校時代とは違う大人になった43期生皆の顔には、人生の苦労や喜びなどが刻まれておりあらためて歳月が経ったことと、当番回期でこれから担う実行委員長という責任の重さを感じました。

当日は朝からの雨。誰が雨男、雨女なんだろうか？動き辛く、どうなることか心配していましたが、雨と汗に濡れながらも丁寧な対応してくれた駐車場係。黄城

会館と小城公民館で細心の気配りをしてくれた女性陣の活躍が特に印象的でした。

来年が本番です。総会でのあいさつの一文「この道を行けばどうなるものか危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし 踏み出せばその一足が道となり その一足が道となる迷わず行けよ 行けばわかるさ」の言葉のように、43期生の絆と友情を大切に、2016年総会の成功に向け一致団結し、一步一步進めて参ります。来年は、皆さまと最高の笑顔でお会いできますよう精一杯がんばりますので、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。最後になりましたが、43期生最高！

## 平成 27 年度黄城会役員一覧

▷会長 = 岩松要輔 (高10回) ▷副会長 = 七田義孝 (高15回) 川副春海 (高26回) 井手真喜子 (高29回) ▷顧問 = 坂本武敏 (校長) 嘉村直樹 (教頭) ▷理事 = 内野正久 (高3回) 永池安彦 (高4回) 川副富男 (高5回) 飯盛宏猷 (高6回) 兵働文雄 (高7回) 大野雅央 (高8回) 真子輝雄 (高11回) 小柳平一郎 (高12回) 中尾久司 (高13回) 森永四郎 (高1

4回) 梅崎茂弘 (高16回) 松尾剛之 (高17回) 野田和良 (高18回) 江口武 (高19回) 野田豊秋 (高20回) 田中政敏 (高21回) 坂井一弥 (高22回) 堤覚三 (高23回) 古賀正人 (高24回) 圓城寺猛 (高25回) 横尾俊彦 (高27回) 井手美保子 (高28回) 岡正幸 (高30回) 安永正 (高31回) 伊東猛彦 (高32回) 水田信 (高33回) 真崎俊夫 (高34回) 松尾直人 (高35回) 西

岡聖師 (高36回) 梶原聖司 (高37回) 北島清孝 (高38回) 北村武士 (高39回) 高塚誠 (高40回) 飯盛宏徳 (高41回) ▷監事 = 梶原千尋 (高5回) 金丸盛登 (高9回) 福田智恵子 (高26回) ▷事務局長 = 外尾美好 (高20回) ▷庶務 = 山崎史子 (高41回) ▷会計 = 大場知子 (高37回)

## 支部役員一覧

【関東支部】▷支部長 = 山崎禎昭 (高9) ▷副支部長 = 石田幸子 (高9) ▷副支部長兼幹事長 = 檜崎進 (高14) ▷事務局長 = 川副隆之 (高32)

【中京支部】▷支部長 = 久本哲義 (高11) ▷副支部長 = 庭木利秀 (高7) 川島公子 (高11) 梅谷雅和 (高17) ▷事務局長 = 堤淳 (高40)

【関西支部】▷支部長 = 梶原邦夫 (高12) ▷副支部長 = 瀬戸口ミサ子 (高10) 新田安典 (高22) ▷事務局長 = 古賀和良 (高31)

【関門・北九州支部】▷支部長 = 橋間啓人 (高9) ▷事務局長 = 山口孝美 (高29)

【長崎支部】▷副支部長 = 大場勝彦 (高11)

【福岡支部】▷支部長 = 岡本壽夫 (高10) ▷副支部長 = 山口順蔵 (高18) 堺八千代 (高25) ▷幹事長 = 古賀省吾 (高26) ▷副幹事長 = 小林佐登子 (高33)

【佐賀支部】▷支部長 = 江里口勉 (高16) ▷副支部長 = 梶原千尋 (高5) 安藤真行 (高15) 宮原史枝 (高15) ▷事務局長 = 圓城寺重憲 (高20)

【唐津支部】▷支部長 = 白石元秀 (高7) ▷副支部長 = 永渕明則 (高16) ▷事務局長 = 鮎川正博 (高28)

【多久支部】▷支部長 = 吉浦啓一郎 (高15) ▷副支部長 = 牛島和廣 (高17) 尾形節子 (高4) 飯守康洋 (高24) ▷幹事 = 内野正久 (高3) ▷事務局長 = 古賀通雄 (高23)

【県庁支部】▷支部長 = 南里隆 (高31) ▷事務局長 = 神代芳男 (高32)

## 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月までの物故者(敬称略)

(回期) 氏名 [住所]

(旧中) (29) 藤田 基夫 [小城市] (33) 金田 昇 [小城市] (34) 大林 盛一 [佐賀市] (35) 森 義男 [小城市] (36) 真子 茂人 [三鷹市] (38) 江口 宗夫 [小城市] (39) 吉田 安郎 [小城市] (39) 瀬戸 眞彦 [佐賀市] (40) 大石 秀博 [佐賀市] (41) 溝口 昭六 [伊万里市] (41) 松尾 義人 [小城市] (41) 黒岩 澄雄 [高槻市] (42) 西招三 [小平市] (42) 古味 堯通 [福岡市] (42) 谷口 初 [小城市] (42) 馬場 昭二 [福岡市] (42) 坪上 昭生 [佐賀市] (42) 林田 實 [小城市] (43) 大坪 武光 [小城市] (43) 安藤 和典 [多久市] (43) 水田 亀 [小城市] (43) 中山 覺夫 [小城市] (44) 渋谷 初實 [多久市] (44) 小松 郁郎 [唐津市] (45) 福島 利定 [佐賀市] (45) 安藤 善治 [小城市] (45) 相川 利隆 [小城市] (46) 北島 利雄 [小城市] (46) 森田 雄三 [横須賀市] (46) 相川 年生 [大牟田市]

(高女) (9) 大石 文子 [小城市] (10) 大野 シツ [小城市] (10) 中島 季子 [佐賀市] (11) 大平 サダメ [小城市] (11) 清水 スミ子 [唐津市] (12) 小林 ヨシ子 [小城市] (12) 松尾 タシ子 [小城市] (12) 山口 玲子 [八王子市] (13) 蒲原 賢子 [竜ヶ崎市] (15) 岸川 ナミエ [小城市] (15) 松尾 カス [下関市] (15) 嘉

村 クリ [佐賀市] (15) 梶山 フミ [伊万里市] (16) 笠原 艶子 [武雄市] (16) 川久保 シゲ [武雄市] (18) 五郎川 忠子 [小城市] (18) 永渕 ヨシ子 [佐賀市] (20) 上野 松江 [小城市] (20) 玉浦 アヤ子 [多久市] (20) 七田 幸子 [佐賀市] (20) 角 文子 [武雄市] (21) 陣駒 タツ子 [佐世保市] (23) 千々岩 ツチエ [小城市] (24) 平川 一枝 [佐賀市] (24) 伊東 京子 [小城市] (24) 光石 スヤ子 [小城市] (25) 武雄 智子 [柳川市] (25) 弥永 留子 [神埼郡] (25) 前山 直子 [富里市] (27) 諸島 叔子 [小城市]

(高校) (1) 古川 文也 [佐賀市] (1) 町田重登 [伊万里市] (2) 蒲地 傳治 [佐賀市] (2) 高木 健恵 [伊万里市] (2) 鶴丸 益也 [唐津市] (2) 中野 宗治 [佐世保市] (2) 平塚 俊克 [諫早市] (3) 伊東 浩路 [福岡市] (3) 伊東 孝治 [多久市] (3) 高塚清 [流山市] (3) 池田 瑠璃子 [長崎市] (4) 永江 幸成 [小城市] (4) 中里 巧 [世田谷区] (4) 東島 好未 [神埼郡] (4) 深町信夫 [高槻市] (4) 井上駒代 [宗像市] (5) 古賀 賢次郎 [横浜市] (5) 岩崎照代 [福岡市] (5) 岸川 ツルノ [多久市] (6) 山路 了 [太宰府市] (7) 島田 佳直 [小城市] (7) 末安 貢 [流山市] (7) 久富

勲 [佐賀市] (7) 光岡 泰男 [和光市] (8) 黒岩 章宏 [福岡市] (8) 平川 博近 [小城市] (9) 安住 治 [久留米市] (9) 石井 宏明 [町田市] (9) 川副 修子 [多久市] (9) 小森 良一 [小城市] (9) 鳥越 克彦 [多久市] (10) 高塚 孝 [練馬区] (10) 鈴木 智子 [唐津市] (11) 右田 滋幸 [市川市] (12) 古川 博也 [佐賀市] (14) 石井 健一 [多久市] (14) 野中 淳一 [台東区] (14) 山崎 トモ子 [佐賀市] (15) 唐島 久三 [船橋市] (15) 古館 恒徳 [小城市] (15) 東原 節子 [佐賀市] (16) 姉川 勝利 [神埼郡] (17) 田中 義近 [小城市] (17) 秀瀬 康徳 [佐賀市] (18) 貞松 堯 [大分市] (18) 中島 保 [小城市] (18) 野田 敏男 [春日市] (18) 古川 靖 [福岡市] (18) 光石 壮昌 [佐賀市] (18) 山崎 玲子 [佐賀市] (19) 津城 謙二 [小城市] (20) 諏訪 俊行 [神埼市] (21) 今泉 喜砂子 [佐賀市] (25) 川内野 嘉昭 [多久市] (29) 楠田 善徳 [小城市] (29) 本村 眞由美 [佐賀市] (34) 寺尾 英利 [小城市]

(定時) (本定4) 近藤 和彦 [多久市] (本定18) 松山 正和 [小城市] (本定19) 小原 光明 [小城市]

## 寄付金・寄贈

(平成26年4月～平成27年3月)

寄付金 高女16回 村山薫子様 2,000円/旧中45回 石井倫平様 50,000円/高校10回 (黄城会会長) 岩松要輔様 100,000円/高校16回一同 (卒業50周年) 様 20,000円/高校16回 福地敏子様 2,000円/高校30回一同様 1,900円/高校40回一同様 1,700円/佐賀支部主催第11回ゴルフコンペ 20,000円

寄贈図書 高校 16 回一同様 『祝 卒業して 50 年 あの日、あの時 思い出つづり記』

## 会費納入及び寄付のお願い NEW!! コンビニからでも納入できます!

黄城会の会費納入及び寄付について、下記によりご協力賜りますようご案内申し上げます。

会費につきましては、1年会費(2,000円)の取り扱いのみではありますが、皆さまの払い込みの利便を図るため、『ゆうちょ銀行(郵便局)』に加え、『全国のコンビニエンスストア』からも払い込みいただけるようにいたしましたので、多くの皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

会費納入につきましては、機会あるごとをお願いをしておりますが、なかなか納付が伸長せず黄城会の運営が危惧される状況になっておりますので、はなはだ勝手ではございますが、会費とは別枠で寄付をお願いして黄城会の事業を行うための経費に充てたいと考えております。なにとぞご理解のうえ、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

近年の納入者が減少の様子です。(別表参照)黄城会の目的である『会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与する』ための円滑な運営ができますよう、会費納入及び寄付について会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお行き違いで、すでに今年度の会費を納入していただいている方に、会費納入の案内が届きましたらご寛恕ください。

### 記

会費納入のご案内(納入をお願いする方に同封しています。) ※終身会費納入者、5年会費納入者の5年未経過者及び今年度会費納入者を除く。	寄付のご案内(ご協力をお願いする卒業回期の方に同封しています。)
①会費の区分 1年会費 2千円    5年会費 1万円    終身会費 5万円 ②会費の振込金融機関 1年会費(2千円)は、最寄りの『ゆうちょ銀行(郵便局)又はコンビニ』から振り込みをお願いします。 5年会費(1万円)又は終身会費(5万円)を振り込まれるときは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行(郵便局)』から振り込みをお願いします。 ※振込手数料は黄城会で負担しますので、会費のみを払い込んでください。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 ※『自動払い込み(口座振替)』にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせていただきますのでご連絡ください。	①寄付の金額は任意でお願いしておりますので、ご寄付いただく金額をご記入のうえ、『ゆうちょ銀行(郵便局)』から振り込みをお願いします。 ②ご寄付いただいた方のお名前を次回の会報に掲載し、お礼申し上げますことにしております。 ※振込手数料は黄城会で負担しますので、寄付金のみを払い込んでください。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。

(別表) 年度別会費納入状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人数	1,474人	1,400人	1,336人	1,256人	1,247人
金額	5,428,000円	5,171,000円	4,769,000円	4,202,000円	4,500,000円

『回期だより』回期だよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご高覧ください。

## 住所変更等の連絡のお願い

現住所を変更(改姓を含む)されたときは、黄城会事務局までご連絡をお願いします。その際には、卒業回期、旧姓もお知らせください。

『ゆうちょ銀行(郵便局)』から会費を振り込まれる方は、払込取扱票の通信欄をご利用ください。寄付金のみを振り込まれる方(ゆうちょ銀行(郵便局)に限ります。)も同様をお願いします。

## 編集後記

4月に風邪をひいて以来1カ月ほど咳が止まらなかったお蔭で腹筋が鍛えられたようで、今まで数回しかできなかった上体起こしの腹筋が私史上初めて20回位できるようになりました。これを機にもっと体力をつけて、黄城会活動に励みたいと思います。(事務員:山崎)